高度課題解決型リーダーの育て方~現場で使える成功ノウハウ継承の秘策「ものがたり継承法」【オンラインライブ】(4124243)

高度課題解決型リーダーの育て方〜現場で使える成功ノウハウ継承の秘策「ものがたり継承法」〜「高度な課題解決力」とは何かを理解し、明日から課題解決力を高度化するために、「ものがたり継承法」を使って行動を変えることを目的とした講座です。

開催日時	2024年12月4日(水) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ビジネススキル(チーム・リーダーシップ・指導力)
カテゴリー	共通業務(契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理)・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	吉野均 氏 (元富士通株式会社 デジタルナレッジ推進部) 富士通にて主に金融機関向けプロジェクトを様々な立場(担当SE、プロジェクトリーダー、プロジェクトマネージャー、プロジェクト責任者)から多数経験。60歳再雇用を契機として富士通ナレッジハンターとして現場力・実践力といったナレッジの継承活動に取組み、その活動を通してユニークな『ものがたり継承法』を確立。退職後、これまでの経験を活かし、セミナー講師として登壇する傍ら、2022年4月からPMAJにてPMノウハウ研究会SIG(略称『ものがたり』研究会)を立上げ活動中。
参加費	JUAS会員/ITC:35,200円 一般:45,100円(1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信(指定会場はありません)
対象	若手エンジニア、チーム・リーダー、プロジェクトマネージャー、研修企画者、管理者 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信(Zoomミーティング)【セミナーのオンライン受講について】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

本セミナーは、「高度な課題解決力」とは何かを理解し、明日から課題解決力を高度化するために、「ものがたり継承法」を使って行動を 変えることを目的とした講座です。

一般に課題解決力を高度化するには、「課題解決プロセス」を何度も繰り返し経験することが有効とされています。しかし、課題解決力を 経験によって高度化するには大失敗のリスクが伴います。そこでお薦めするのが「ものがたり継承法」です。

「ものがたり継承法」は、富士通株式会社での「ナレッジ継承活動」により効果が検証されている方法です。この方法であれば、経験する ことによる大失敗のリスクを犯さずに、疑似体験により「高度な課題解決力」を身に着けることができます。

「ものがたり継承法」の仕組みや実践事例の概要をご説明し、その成果の一つである「DX実践記」を疑似体験して頂きます。

この疑似体験が「課題解決型プロマネ」を目指すきっかけとなるように工夫を凝らしてご紹介いたします。

最後に、「ものがたり継承法」の導入方法をご説明します。

この中で、明日から現場で実践できる「ものがたり継承法」の実践方法として「秘密のエピソード」と呼ぶフレームワークを演習も交えて楽しく学んで頂きます。このフレームワークを使って、プロジェクト現場で発見された、課題解決のちょっとした知恵を楽しみながら伝え合い、「課題解決力」を互いに高め合う活動からスタートすることをお薦めします。

◆主な研修内容:

1. 「課題解決型プロマネ」並びに「高度な課題解決力」とは

- ・ミニ演習:アイスブレーク
- 1.1 新たなプロマネの人材像「課題解決型プロマネ」と「匠のPM」
 - ・演習1 「課題解決型プロマネ」と今までのプロマネとの違い
- 1.2 戦後復興期の「匠のPM」とその類い希な課題解決力
- 1.3 デジタル敗戦からの復興に必要不可欠な「匠のPM」
- 1.4 新事業開発プロジェクトにおける3つの修羅場
- 1.5 修羅場を乗り越える「高度な課題解決力」とは
 - ・ミニ演習:絶体絶命の危機に陥ったプロマネの実践力を疑似体験
- 1.6 「高度な課題解決力」は全てのプロフェッショナルに必要
- 2. 『高度な課題解決力』を身に着ける『ものがたり継承法』
- 2.1 「ものがたり継承法」による「疑似体験」の仕組み
- 2.2 「ものがたり継承法」の富士通での成果事例・概説
- 2.3 「DX実践記」を疑似体験 変革マインドと実践力を学ぶ
 - ・演習2:「DX実践記」の課題解決型プロマネとは
- 3. 簡単にできる「ものがたり継承法」の実践方法
- 3.1 小さく生んで大きく育てる3フェーズ導入法の概説
- 3.2 「匠の知恵」を疑似体験できる「ものがたり」の書き方
 - ・演習3:修羅場の場面とそれ以外との書き分け方
- 3.3 修羅場経験を他者に伝える「秘密のエピソード」
 - ・演習4:ご自身の修羅場経験を書いてみよう
- 4. おわりに
- (1) 振り返りとまとめ
 - ・ミニ演習 クロージング
- (2) 皆さまへのエール